

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900078		
法人名	社会福祉法人 旭川福祉事業会		
事業所名	グループホーム ゆとり		
所在地	北海道旭川市永山4条3丁目1番20号 (電話) 0166-46-5061		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年2月10日

【情報提供票より】(平成21年1月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年5月9日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 9人, 非常勤 9人, 常勤換算	6.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	10,000~18,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

(4) 利用者の概要(1月21日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	2 名	要介護2	0 名
要介護3	11 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	2 名
年齢	平均 82.3 歳	最低 59 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	森山病院・佐野病院・かむい歯科診療所
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域に根ざし、認知度と信頼も厚い社会福祉法人が運営するグループホームです。また、職員のスキルアップに力を注ぎ行政や包括支援センターなどの外部研修参加の奨励や内部の研修、資格取得への支援も積極的に行われています。近年は職員の離職もほとんど皆無で、馴染みの職員によるケアサービスが支援されていると共に管理者、職員同士の信頼関係も厚く本人との良好な関係が築かれている様子が伺えました。地域との交流も盛んに行われ、町内会の行事参加や地域の人々の慰問、演芸ボランティアやハーモニカ・三味線の演奏などの受け入れや日常生活を通じて認知症に対する理解や広報にも取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回外部評価の実施では、運営推進会議の中での具体的な取り組みについて課題が挙げられていましたが、火災避難訓練や同業他施設との交流、誕生会開催の詳細などより具体的な意見交換が行われ、そこでの意見が運営に反映されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として活かされ話し合われています。また、評価を実施する意義を理解しており、さらなるケアサービスの向上に取り組み具体的な改善活動が実践されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヵ月毎に定期的開催されています。主な議題は 火災避難訓練の実施について 同業他施設との交流、職員の見学について 誕生会開催について 職員と利用者のおやつ作りの様子について 外出行事のドライブについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月家族が来訪されるので、来訪時に介護支援経過記録の説明や健康状態、要望、不安への対応が話し合わせられ介護計画に反映するように取り組まれています。また、金銭管理については毎月領収書と共に収支が報告され、機関誌の発行で行事参加の様子や日常生活の様子など情報提供されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会加入で、町内の行事参加や地域の人達の慰問など行われ交流が促進されています。また、演芸、ハーモニカや三味線の演奏、セラピードックなどの地域ボランティアの受け入れや障害者施設の移動販売、訪問理美容の受け入れなどホーム機能を活かした地域の貢献も実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、経営理念をもとに、運営方針、行動指針をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングで理念を唱和している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入で、町内の行事参加や地域の人達の慰問など行われ交流が促進されている。また、演芸、ハーモニカや三味線の演奏、セラピードックなどの地域ボランティアの受け入れや障害者施設の移動販売、訪問理美容の受け入れなどホーム機能を活かした地域の貢献も実践されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として活かされ話し合われている。また、評価を実施する意義を理解しており、さらなるケアサービスの向上に取り組み具体的な改善活動が実践されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月ごとに定期的開催され、具体的内容について話し合われている。委員は、利用者代表、家族代表、町内会代表、旭川大学講師、管理者で構成されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日々の業務を通じて、市担当者との連絡や運営等についての相談など連携を図っている。また、行政主催の研修会参加など積極的に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>職員のその日の勤務状況を玄関入り口に掲示し、来訪者に分かりやすくしていると共に個々の職員の紹介を掲示している。また、金銭管理の収支報告や機関誌を発行して、日常の暮らしぶりなど個々に合わせた報告もしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会との意見交換や毎月家族が来訪されるので、来訪時に介護支援経過記録の説明や健康状態、要望、不安への対応が話し合わせ介護計画に反映するように取り組まれている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。</p>		<p>特筆すべき点として、開設以来 近年は職員の離職は殆どなく、利用者との安定した関係を築いている。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員のスキルアップに力を注ぎ行政や包括支援センターなどの外部研修参加の奨励や内部の研修、資格取得への支援も積極的に行われている。近年は職員の離職もほとんど皆無で、馴染みの職員によるケアサービスが支援されていると共に管理者、職員同士の信頼関係も厚く本人との良好な関係が築かれている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者、職員は、同業他事業所の訪問や見学会を実施している。また、包括支援センターの交流会参加やグループホーム連絡協議会・ケア研究会で他施設との意見交換などが行われている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には家族・利用者の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人と一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。また、センター方式を利用して過去の大事な出来事や生活歴を把握するなど本人と共に支えあう関係に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握にセンター方式を利用して努めている。また、カンファレンスや給食会議などで職員間で話し合わせ共有されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、カンファレンスやユニット会議を通じて職員からの意見を取り入れ具体的になっている。</p>		<p>特筆すべき点として、アセスメントから介護計画、実施するサービス内容、介護支援経過記録からサービス内容の評価、介護計画の見直しに至る一連の流れが連動している。詳細な項目についても今後、推進していく計画が検討されている。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、医師・歯科医師の往診、散歩や買物など柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医、看護師との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階で本人・家族の意志が確認され、職員間で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応が行われている。また、記録等の扱いについては、個人情報に配慮されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望や思い、ペースを尊重して戸外に出かけたり、行事参加やボランティアとの交流など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	給食委員が工夫して食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、料理の準備や後片付けなど職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週3日(月、水、金)を目安に入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、畑作業や食事の準備・後片付け、ホーム主催の行事参加や外出など気晴らしの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩などで外気浴を楽しんだり、紅葉見物や動物園見学、ドライブなど戸外に出かけられるよう計画を立てて支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。		特筆すべき点として、日々の介護支援経過記録に緊急時に慌てないように、利用者のその日の服装を記録するよう検討されている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災避難訓練、避難場所の確保、設備の点検など安全対策が実施され、運営推進会議にも報告されている。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるように更なる働きかけを行うことを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーは、管理栄養士の指導のもと具体的に把握されている。また、個別の嚥下状態などによる個々に応じた支援や具体的な食事や水分摂取量が把握されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。共用空間や居室の温度、湿度は管理されている。また、広い共用空間ではボランティアによる演芸や演奏会に利用され、利用者の楽しみごとや地元の人々との交流の場となっている。敷地は広く、畑作業や野菜も作られ季節感が味わえる工夫も行われている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、清潔感が漂い使い慣れた家具などが持ち込まれ、本人が居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。